

# 自由民権運動と政党(1)

## 1, 自由民権運動

自由民権運動…明治時代の前半、[1 薩長藩閥政府]に対して、自由と民主主義をもとめ、[2 国会開設]、[3 憲法]の制定、[4 地租]の軽減、不平等条約改正の阻止、言論の自由や集会の自由の保障などの要求を掲げた。政府は弾圧の動きを強めたが、1881年[5 開拓使官有物払い下げ]事件をきっかけとする運動の高まりのなか、政府は[6 国会開設]の勅諭をだし、1889年の帝国憲法制定・1890年の帝国議会開設へとつながった。

当初は[7 征韓]論などをもとめる[8 士族]中心の運動であったが、しだいに[9 豪農]らが中心となり、1880年代の[10 松方デフレ]にともなう不況の中で[11 農民]を中心とした[12 秩父]事件など激化事件が発生、しだいに分裂と衰退の傾向をつよめた。

①討幕・明治維新…[13 薩摩][14 長州]出身者を中心に実現  
→新政府の指導者や官僚は両藩の出身者に偏在([15 薩長藩閥政府])

1873 [16 征韓]論争をきっかけに、土佐・肥前出身の参議らが辞職→薩長藩閥化の進行  
大隈重信(肥前出身)は残る

②運動の発生…1874 板垣ら征韓派元参議ら愛国公党を結成、[17 民撰議院設立建白書]提出  
→板垣ら土佐グループ…[18 立志社](1874)設立→全国結社をめざし[19 愛国社](1875大阪)  
(「[20 士族]の民権」)

③[21 豪農](地主・大規模農家)や都市部の商工業者の運動への参加(国民運動化)  
→「[22 豪農]の民権」へ  
各地に[23 政社]設立→1880年各地の政社の代表者、[24 国会期成同盟]結成  
→国会開設請願書提出をはかる

④薩摩出身の[25 黒田清隆]による[26 開拓使官有物払い下げ]事件発覚  
→藩閥政治批判=自由民権運動の高まり

1881 明治[27 14]年の政変  
・[28 国会開設]の勅諭→[29 欽定憲法]制定の基本方針を示す  
・[30 大隈重信]の罷免(肥前出身)(←31 議院内閣制の早期導入を主張していた)  
→いっそうの藩閥化すすむ

⑤政党の結成  
ア) [32 自由]党(総理[33 板垣退助])=土佐派中心に結成(1881)  
…地方の[34 地主]が基盤、フランス的[35 急進自由]主義をとる  
イ) [36 立憲改進黨]党(総理[37 大隈重信])  
…都市の実業家・知識層が基盤、イギリス風の[38 議院内閣]政治を主張  
ウ) 立憲帝政党=福地源一郎ら 政府支持の保守政党

⑥松方デフレの進展→「[39 豪農民権]」の弱体化と[40 激化]事件の発生  
・有力農民の経営難・生活難・[41 寄生地主]化(「[42 豪農民権]」の弱体化)  
・一般農民の没落→自由民権運動と結合→[43 困民]党の結成(「[44 農民民権]」の展開)

↓  
[45 激化]事件の発生→1882[46 福島]事件、高田・群馬・加波山・飯田・名古屋・静岡の各事件  
1884(明治17)[47 秩父]事件…秩父地方で、自由民権運動の影響を受けた貧農が蜂起  
→[48 負債減免]・徴兵令改正・[49 地租]減免

⑦民権政党の墮落  
ア) 政府の懐柔策…[50 板垣退助]・後藤象二郎の洋行問題  
弾圧策…[51 集会]条例改正

↓  
イ) 1884 自由党中央→[52 解党]宣言、改進黨→[53 大隈重信]ら脱退  
ウ) 1886 [54 国権]主義傾向の高まり=大井憲太郎ら[55 大阪]事件を起こす

⑧1886 星亨(旧自由党)ら民権派の再統一をはかる(「[56 大同団結]運動」)  
→1887[57 三大事件建白]運動=[58 地租減免][59 言論集会の自由][60 外交失策の回復]  
井上外相による条約改正交渉→民権派の上京運動活発化→[61 保安]条例で弾圧

### 政府の民権運動弾圧

1875 [62 讒謗律][63 新聞紙条例]←民権運動の成立期(立志社・愛国社の運動)  
あわせて[64 大阪]会議で板垣を懐柔→[65 漸次立憲政体樹立の詔]を公表  
1880 [66 集会]条例←片岡健吉らの[67 立志社建白]など  
民権派の言論・集会・結社を弾圧  
1887 [68 保安]条例←[69 三大事件建白]運動  
民権派を東京から追放

### < 以後の弾圧法 >

1900年[70 治安警察]法←労働運動や社会主義運動の発生  
団結権・ストライキ権の制限など労働運動や政治運動や女性の政治進出など規制  
1925(大正14)[71 治安維持]法←普通選挙法制定  
「国体」の変革や私有財産制否認を目的とする結社(=共産党など)結成を処罰  
1928(昭和3)治安維持法改正(緊急勅令による)←三一五事件=共産党弾圧事件  
最高刑を死刑・無期懲役に、協力者(民主主義者・自由主義者など)の処罰も可能に  
警察[72 特別高等課](特高)をおき、「思想犯」を監視・検挙

# 自由民権運動と政党(2)・社会運動の発展

## 2, 憲法制定・法典の整備

### ①憲法の制定

1881(明治14) [1 国会開設] の勅諭→[2 欽定憲法] 制定と国会開設の基本方針を示す  
 ↓  
 [3 伊藤博文]、[4 シュタイン] (独) [5 グナイスト] (オーストリア) から [6 ドイツ] 流憲法理論を学ぶ  
 ↓  
 [7 井上毅] や [8 金子堅太郎]、顧問 [9 ロエスレル] らが草案を起草→ [10 枢密院] で審議  
 ↓  
 天皇の諮問機関  
 1889(明治22)年2月11日 [11 大日本帝国憲法] 発布

### ②政治機構の整備

ア) 1884 華族令→上院 ([12 貴族院]) の母体とする

華族令…上層公家・大名に加え [13 維新の功労者] などにも範囲を広げる。公侯伯子男の5爵  
 →国会の [14 貴族院] の基盤とする

イ) 1885 [15 内閣] 制度の創設 (初代首相 [16 伊藤博文]) ← [17 太政官] 制の廃止  
 ウ) 天皇を保護する体制樹立… [18 宮内] 省独立、[19 内大臣]、[20 皇室財産] の創設  
 → [21 宮中] と [22 府中] (一般政務) の別をつける  
 エ) 地方自治制度の確立…市制・町村制、府県制・郡制などの整備  
 → [23 地方名望家] (地域の有力者・大地主など) を地域の担い手とする

③民法… [24 ボアソナード] を顧問とし、フランス法 (個人の尊重・契約を重視) をもとする民法を整備  
 →穂積八束ら、[25 民法出デテ忠孝亡ブ] と批判 ([26 民法典] 論争)  
 封建的 [27 家族] 制度を基礎とする民法に変更  
 = [28 戸主] の家族員への強い権限、[29 家督相続] 制度、男女不平等  
 刑法 = 天皇への [30 大逆] 罪や [31 不敬] 罪、女性差別の内容 ([32 姦通] 罪など)

## 3, 初期議会と政党の変質

①1890年第一回衆議院議員選挙… [33 民] 党 (旧民権派 = 立憲自由党・立憲改進黨) の大勝  
 = [34 政費節減] [35 民力休養] 要求  
 内閣 (黒田・第一次山県) … [36 超然] 主義を唱え、[37 議会] と激しく対立  
 政府は議会の意向に左右されない  
 第一次松方内閣→衆議院を解散、品川内相を中心に激しい [38 選挙干渉] を行う→失敗におわる

②第2次 [39 伊藤博文] (「元勳総出」) 内閣 = [40 立憲自由] 党に接近、海軍軍備拡張に成功

③日清戦争と [41 三国干渉] → [42 軍国] 主義的・排外主義的な風潮の高まり = 民党も政府支持に  
 ④1900(明治33) [43 立憲政友] 会…憲政党 (旧自由党) が [44 伊藤博文] に接近し、結成  
 →藩閥政府と政党の融合進む  
 ⑤桂園時代  
 [45 桂太郎] (←山県系、保守的・藩閥政治継承・反政党的)  
 [46 西園寺公望] (←伊藤系、「進歩的」、[47 立憲政友会] 総裁をかねる)

## 4. 社会運動の発生

①産業革命の進展→ [48 賃金労働者] の増加 [49 繊維] 業が中心  
 労働運動の発生…1897 [50 労働組合期成会] ([51 高野房太郎]、片山潜ら)  
 [52 鉄工組合] や [53 日本鉄道矯正会] など (←熟練工が中心)  
 反公害運動… [54 足尾鉍毒] 事件 = [55 田中正造] ら  
 ②社会主義運動…1898 [56 社会主義研究会] 結成 (安部磯雄・片山潜・幸徳秋水ら)  
 →1901 [57 社会民主] 党結成 (←政府により即日解散)  
 →1906 [58 日本社会] 党結成→翌年、解散命令へ  
 ③反戦・非戦運動 = 幸徳・堺利彦ら平民社を結成、[59 平民] 新聞発刊  
 → [60 日露] 戦争反対を強く主張、反戦論を主張  
 ④政府 1900年 [61 治安警察] 法を制定 ([62 山県] 内閣) = 団結権・ストライキ権を制限  
 [63 工場] 法制定の動き = 労働者の保護をめざし、少年・女性の労働を制限などをめざす  
 →資本家の反対のため、[64 1911] 年制定→ [65 1916] 年実施  
 不徹底な内容  
 ⑤1910 [66 大逆] 事件…社会主義者らへの大弾圧、[67 幸徳秋水] ら死刑に処せられる  
 →以後、「[68 冬の時代]」へ

## 5, 大戦景気と大衆文化の形成

①第一次大戦→空前の好景気 = [69 不況] と [70 財政危機] の解決

産業構造の変化 = 「[71 農業] 国から [72 工業] 国へ」 農村から都市へ  
 工業労働者は戦前の [73 1.5] 倍に、男子労働者の倍増、[74 都市] 人口増加

②大衆文化、都市文化の発達  
 義務教育の普及、就学率 [75 97] % (1907) をこえる。→ほぼすべての国民が [76 文字] をよめる  
 都市の高学歴者 ([77 インテリ]) の増加→給与生活者 ([78 サラリーマン]) の大量出現  
 [79 女性] の職業進出 ([80 職業婦人]) ・タイピスト・電話交換手など  
 ③マスメディア ([81 新聞] ・雑誌・[82 ラジオ] ・[83 映画]) などの普及  
 レコード、歌謡曲の流行→サラリーマンや労働者を担い手とする [84 大衆文化] の成立  
 総合雑誌 ([85 中央公論] ・改造など) →知識層を中心に読者を広げる

# 大正デモクラシーと社会運動の発展

## 6. 米騒動と政党内閣の成立

- ①東大教授[1 吉野作造]、論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」  
→[2 民本]主義を提唱、[3 普通選挙]制にもとづく[4 政党]内閣制をもとめる

なぜ民本主義か→天皇主権をとく明治憲法の枠内で民主主義の利点を採用する

- ②1918年7月 [5 米騒動] 発生

好景気と[6 シベリア出兵] (ロシア革命干渉戦争)をきっかけにした米価の急騰に反発して発生した大民衆運動。 [7 富山] 県での女性の米移出反対運動をきっかけに、全国化。 [8 都市民衆] [9 貧農] [10 被差別部落] 住民ら蜂起し、米商人・富商・地主らを襲撃、一部では[11 軍隊] も出動した。

- ③[12 原敬] 立憲政友会内閣成立 = 日本初の[13 本格的政党内閣] ([14 平民宰相] として歓迎)  
・[15 選挙権] の拡大、好景気を背景とした[16 積極財政] (鉄道拡充・高等学校増設)  
→1921年、[17 暗殺される]。→高橋是清政友会内閣(短命)→以後非政党内閣づく

## 7. 社会運動の勃興と普選運動

1922(大正11)年 [18 日本農民組合] [19 全国水平社] [20 日本共産党] の3つが結成される

- ①世界での民主主義・平和主義の動向、[21 ロシア革命] 発生 (= 社会主義政権の成立)  
[22 米騒動] →労働者・小作農民・被差別部落民らの参加→自らの力への自信 = 大衆運動の発展  
大戦景気→経済構造の変化 = 労働者(とくに[23 男性熟練労働者])の増加、都市型社会の形成  
農村の停滞、小作農民の厳しく生活と無権利状態←[24 寄生地主] 制のもとで高額[25 小作料]

- ②労働運動の活発化→[26 労働争議] の発生・増加、[27 労働組合] の結成づく  
ア) 1912[28 友愛会] (鈴木文治ら) = [29 労資協調] による労働者の地位向上・労働組合の育成をめざす  
→1921[30 労働総同盟] に改称…[31 階級闘争] 主義 = 労働争議を支援・指導などを重視  
→1920 第1回[32 メーデー] 開催

- ③[33 小作争議] の頻発 = 小作農民中心、34 小作料の減額や耕作権獲得を要求  
→1922全国組織としての[35 日本農民組合] 結成 ([36 杉山元治郎] ・賀川豊彦ら)

- ④民本主義運動 = 知識人の運動(←「中央公論」「改造」など[37 総合雑誌] 発刊、新聞購読者急増)  
吉野作造→[38 黎明会] 結成…全国的啓蒙運動をすすめる→知識人への啓蒙  
学生運動→[39 新人会] (東大)などの結成→労働・農民運動や社会主義に接近

- ⑤女性解放運動  
出発点 = 自由民権運動期…[40 景山英子]、岸田俊子ら  
1911 [41 平塚雷鳥] ら[42 青鞥会] 結成…「元始、女性は太陽であった」  
1920 [43 新婦人協会] 結成(平塚、[44 市川房枝] ら)→1924婦人参政権期成獲得同盟会  
→治安警察法第5条(女性の政治活動参加禁止を定める)改正の実現  
伊藤野枝・[45 山川菊江] ら[46 赤濁会] 結成…社会主義の立場から女性解放をめざす
- ⑥1922年[47 全国水平社] 結成(西光万吉ら) = [48 被差別部落] 住民による自主的な差別解放運動
- ⑦社会主義運動の再開(←1910[49 大逆] 事件以後「冬の時代」)  
1920 日本社会主義同盟 結成  
→アナ=ボル論争([50 無政府] 主義 = 大杉栄らVS[51 共産] 主義 = 堺利彦ら)  
1921禁止 ↓  
1922. 7 非法法下に[52 日本共産党] 結成(堺利彦、山川均ら)…[53 コミンテルン] 日本支部  
→翌年、弾圧を受け解散→1926再建
- ⑧各種社会運動の共通要求としての[54 普通選挙権獲得] 運動の高揚(1919~20)

## 8. 護憲三派内閣の成立

- ①1924(大正13) [55 清浦奎吾] 内閣の成立←貴族院・官僚の支持背景 = 衆議院・国民の意見を無視  
→護憲三派([56 立憲政友会] [57 憲政会] [58 革新倶楽部])による倒閣運動→選挙で圧勝  
([59 第二次護憲] 運動)
- ②[60 加藤高明] ([61 憲政会])、護憲三派内閣成立  
・1925(大正14) [62 普通選挙] 法制定

普通選挙法…[63 25] 歳以上の[64 男子] に[65 衆議院議員] の選挙権を与える

・1925(大正14) [66 治安維持] 法制定 = 思想・信条の自由、結社の自由を強く侵害

治安維持法…「国体」 (= 天皇を中心とする国のあり方) の変革や私有財産制否認を目的とする結社 (= 共産党など) 結成を処罰→[67 共産主義者] などが対象、のち[68 自由主義者] らへも適用拡大

- ③以後、1932年まで衆議院の信任を基礎に、二大政党による政党内閣づく([69 憲政の常道])

立憲政友会…[70 公共事業] や[71 産業育成] など地域の利益誘導に積極的、[72 積極] 財政  
対中国[73 強硬] 論(←軍部に同調)を主張、三井財閥の援助  
[74 立憲民政党] (←[75 憲政会] + 政友本党)…[76 議会中心主義] を政綱とする  
内政では普通選挙実現・[77 軍備縮小] など自由主義的、[78 緊縮] 財政  
[79 協調] (幣原) 外交・対中国[80 不干涉] (←軍部・右翼の反発)、三菱財閥の援助

- ④[81 1926] 年12月に[82 大正天皇] が死去、昭和天皇が即位。[83 昭和] に改元